

自分の懐から 温めるような、 そんな政治で いいんですか？



特集 12月議会& 冬のボーナス

2024年の能登半島地震から2年…
石川県七尾市を訪れて義援金を届ける

すがや浩平
京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

.....
.....
.....
.....
.....

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	FAX 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るかメールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。

市政と一緒に、変えませんか。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所では、市民からの陳情の対応や議会での質問に必要な政務調査活動をはじめ、議会報告のポスティングといった広報活動のサポートなど、みなさんの得意分野をいかながら、可能な範囲でお手伝いをお願いできるボランティアスタッフを募集しています。



▲ポスター（A2サイズ）

毎月第2土曜日に議会報告会をおこなっています。

わたし、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しています。
是非ともお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。市政に関するご意見・ご要望にもお応えします。

〔日時〕 毎月第2土曜日の夕方5時～6時 〔場所〕 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力のお願い （ポスター/A2サイズ タテ594mm×ヨコ420mm）
ご自宅の外壁・窓ガラス・フェンスなどのポスター掲示を許可していただける場所を探しています。

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章及びデザインの無断転載、借用、複製は禁じられております。

12月議会&冬のボーナス

01 京都市12月特別議会

デジタル地域ポイント給付費など含む補正予算案
自民、維新・京都・国民、公明、改新など賛成で可決

京都市12月特別議会が12月24日に開会し、市は物価高騰対策として、国の重点支援地方交付金などを活用し、市民1人あたり5000円相当のデジタル地域ポイントの給付や、子育て世帯や住民税非課税世帯への現金給付などを盛り込んだ総額109億2000万円にのぼる2025年度一般会計補正予算案を市議会に提出した。



▲昨年12月24日、京都市12月特別議会・本会議が開かれる

今回の補正予算案は、マイナンバーカードと連携させたアプリを新たに導入し、市内の登録店舗で利用できるデジタル地域ポイントとして市民1人あたり5000円相当を給付する費用に45億600万円、市内の0歳から18歳の子ども1人あたり25000円を給付する費用に46億1600万円、住民税非課税世帯に1世帯あたり5000円を給付する費用に17億9800万円を充てる。

市議会は12月26日に最終本会議を開き、市が提出した同補正予算案を、自民党、維新・京都・国民、公明党、改新京都、4名の無所属議員らの賛成多数で可決したが、わたしのほか、共産党と1名の無所属議員らは反対した。

02 冬のボーナス(期末・勤勉手当)

議員らのボーナスは昨冬と比べ約21万円の増に
松井市長の約362万円が近畿の首長でトップ！

京都市では昨年12月25日までに、市職員ら計2万306人に對して、総額約194億8892万円にのぼる冬のボーナス(期末・勤勉手当)が支給された。市の一般職員全体(平均43・0歳)の平均支給額は、昨冬と比べて2万6902円増の95万4263円だった。

また、市の特別職である松井市長の冬のボーナス(期末手当)の支給額は、昨冬と比べて114万6621円増の362万8987円で、3名の副市長らの支給額は、昨冬と比べて41万2990円増の288万2600円だった。さらに、市議会議員(議長・副議長を除く)らの支給額は、昨冬と比べて21万2280円増の247



▲昨年12月、冬のボーナスの引き上げを決める京都市議会

万800円だった。

ちなみに、近畿2府4県の知事と政令市長ら10名のうち、財政状況などを理由に同ボーナスの支給額をカットしている首長が7名いた一方で、「優秀な人材を確保するためには、適切な処遇の確保が重要だ」とする松井市長は、自身の給与カットも2025年度に取りやめてしまっているため、支給額が最高となっている。

2024年の能登半島地震から2年： 石川県七尾市を訪れて義援金を届ける

選挙公約が実現するまで差額分は受け取らない！
2021年の議員報酬から約125万円を寄付！

2024年の元日に発生した能登半島地震から2年が過ぎた1月8日、わたしは石川県の七尾市を訪れ、同市の茶谷市長に対して、被災地復興のための義援金を届けた。

わたしは2015年に、「議員報酬の3割削減」を選挙の公約に掲げて初当選して以降、同公約が実現するまでの間、京都市議会としておこなう議員報酬のカットとは別に、自主的に30%カットになるよう、差額分は受け取らずに寄付をしている。

今回は、2021年の議員報酬から、さらに20%カットに相当する125万1050円を、七尾市災害義援金に対し、寄付をさせてもらった。



▲茶谷七尾市長(左)に義援金の目録を手渡す

カットして寄付した先は、福島県災害対策本部、福島県共同募金会、東日本大震災ふくしまこども寄付金、熊本地震義援金、熊本城復元整備基金、倉敷市西日本豪雨災害義援金、神戸市民病院機構、上京区の児童養護施設、東山区の児童養護施設などがある。

※ 公職選挙法により、京都市への報酬の返還や北区の個人・団体などへの寄付は認められていません。

京都市議会議員・北区
菅谷 浩平 (39)

すがやこうへい



所属政党／なし(無所属)
※2025年3月に日本維新の会を離党
地域活動／消防団・少年補導・子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社に営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記 Editors note

災害関連死を含めて700名近くが犠牲になった
能登半島地震から2年。わたしは昨春に、石川県の

七尾市、輪島市、珠洲市の被災状況などを実際に見て回り、再び七尾市を訪れることにした。あまり知られていないが、能登半島地震の発災直後、被災した自治体に特定の自治体を割り当てて支援する、いわゆるカウンターパート方式により、京都市は七尾市の被災地支援をおこなってきた。そのご縁もあり、同市の茶谷市長と被災地での支援のあり方などについて意見交換もさせてもらった。今後、京都市の災害対応などに役立てたい。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所

〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1
Tel 075-493-6564
Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp



www.sugayakohei.com



@sugayakohei



facebook.com/sugayakohei



@sugayakohei